

# 展示会産業概論

～ はじめて展示会に関わる人のための入門書 ～

平成26年3月

経済産業省



## はじめに

本書は、展示会産業を初めて学ぶ学生やこの産業に初めて携わる社会人を主な対象とした「展示会産業の入門書」として位置づけられるものです。

展示会は、製品販売を行う企業の販売促進や、商品に対する評価やニーズを把握するためのマーケティングの場等として、ビジネス面で大変重要な役割を担います。会場では、出展企業とバイヤーとの間で真剣な商談が行われ、その迫力に圧倒されます。また、開催地域に対して幅広い経済波及効果をもたらし、地域のイメージやブランド力向上に寄与するとともに、MICEの一環として、出展や商談を契機とした国内外からの誘客促進にもつながるなど、経済活動にとって重要なものとなっています。このように、展示会は幅広い分野に多大な効用をもたらすことから、ドイツをはじめとした欧州に加え、中国やシンガポールなどのアジア圏においても、積極的に展示会産業の振興が図られています。

一方、我が国の展示会産業は、従来国内需要への対応を基本とし、業界団体をはじめとする業界関係者等の主催による展示会を中心に発展を遂げてきたところですが、国内産業が成熟期を迎えており、今後の成長見込みは必ずしも良好とはいえません。しかしながら、我が国は世界を代表する経済大国であり、国内には世界を代表する技術力を持った企業が多く集積しているほか、消費市場としてのポテンシャルは高く、まだまだ国際的には魅力的な市場であります。こうした状況を踏まえ、今後我が国の経済が成長するためには、成長著しいアジア圏を中心とした海外需要を積極的に取り込み、国内外の企業間取引を活発にする必要があります。そのために我が国展示会産業の国際化に焦点をあてて活性化を推進することが重要となります。

このため、経済産業省では、平成22年度より、展示会産業の活性化方策を国際化に焦点をあてて「展示会産業のビジョン」として取りまとめ、その中で、国際的な観点から質の高い人材の育成が必要だと認識されたことから、教育プログラムの確立や導入の検討を順次行ってきました。そして、平成25年度事業において、教育プログラム導入の契機とするために、「展示会産業に関する専門知識を有しない教育者・研究者でも、一定水準において包括的かつ実践的に教育が可能となるような教材」の開発のための調査を行い、その成果を「展示会産業概論」としてとりまとめました。是非とも、大学などの教育関係者や展示会産業関係者の方々にご一読いただき、ご活用をして下さいますようお願い申し上げます。

最後に、本書の開発にあたり、学术界及び産業界の方々をメンバーとする「展示会産業人材育成検討委員会」を設置して検討を行いました。また、国内外の主催者、出展者、展示場関係者の方々等からも貴重なご意見・アドバイスをいただき、本書作成の参考とさせていただきます。この場を借りて、お世話になりました皆様方に、御礼申し上げます。

平成26年3月  
経済産業省

## 本書活用の主なポイントについて

本書は、初めて展示会に触れる学生や社会人（企業・行政関係者等）を対象として、展示会の概要を習得するために開発された教材です。学生の方々にとっては、今後の研究テーマのひとつにつながることや、就職先として選ぶ際の参考になると思われますし、社会人の方々にとっては、展示会活用の参考になりますので、是非とも積極的にご活用いただきたく存じます。

本書活用の主なポイントは、次のとおりです。

### ●展示会の意義（なぜ展示会が注目されるのか）を学ぶ

展示会は、出展する企業の販促活動やマーケティング活動、コミュニケーション手段として活用されるものです。一定の期間に多くの出展企業や来場者（バイヤー）が集まるため、非常に効率的に商談活動を行うことができます。そのため、広告宣伝活動や営業活動に費用をかけられない中小企業にとっては、販売活動を行いやすい場といえます。

また、同分野の企業が集まるため産業の活性化（技術開発競争の進展など）につながります。さらに、展示会が開催される地域では、観光資源等の情報発信（PR）や、多くの宿泊者が見込まれることによる経済効果の波及などにもつながります。

これらの効果は、展示会の運営方針（参加方法、料金設定、地域との連携など）により異なります。特に、国や地域によって展示会に対する考え方や対応方が異なるため、各国・地域の状況を理解・把握することが重要です。

### ●展示会の定義や展示会に関わる各主体を学ぶ

展示会には国際的な定義が設けられており、我が国においても明確に定められています。展示会の全体像を把握するうえで、まずはこの点を理解する必要があります。そして、展示会に関わる主体（プレイヤー）の位置づけや具体的対応について把握することで、学生の方々にとっては就職を考える際の参考となり、社会人の方々にとっては担当される業務への対応の際の参考になるものと思われます。

なお、本書では具体的な実務にまでは触れていませんので、より詳細な情報を把握したい方は、JETRO（日本貿易振興機構）をはじめとする展示会関係組織の資料等をご活用下さい（本書の資料編に参考文献等を記載していますので、ご参照下さい）。

### ●国内外の展示会の歴史や最新動向を把握する

過去の国内外の展示会の歴史を学ぶことにより、展示会が社会に果たしてきた役割を把握することができます。そして、最新動向を捉えることで、注目されているテーマ・業種や現在の社会情勢（景気動向など）も理解することができます。特に、国

や地域による展示会の方法や展示会に対する姿勢・考え方、展示会教育の違いなどを比較すると、各国及び地域の特性を明確に理解することができます。

## 目次

はじめに

本書活用の主なポイントについて

本編

序章 展示会の概要	1
第1章 展示会とは	6
1. 展示会の定義	6
2. 展示会の位置づけ	12
3. 展示会の種類	15
4. 展示会開催の意義	18
5. 展示会に関わる主要プレイヤー	21
6. 周辺産業とその役割	27
第2章 世界の展示会産業	29
1. 世界の展示会産業の沿革と位置づけ	29
2. 各国における展示会産業の動向	32
3. 展示会に関する様々な仕組み	69
第3章 我が国の展示会産業	78
1. 我が国の展示会産業の沿革と位置づけ	78
2. 我が国の展示会産業の動向	82
3. 我が国の展示会産業に関する様々な仕組み	120
第4章 主催側における展示会開催・運営計画	126
1. 展示会の計画	127
2. 設営計画	132
3. 展示会運営	134
4. 展示会終了後	136
第5章 出展企業からみた展示会	138
1. 出展の目的と効果	139
2. 展示会の選定	145
3. 具体的な展示会出展作業	147
4. 展示会対応	151
5. 展示会終了後	153
第6章 展示会施設の対応	161
1. 施設整備	162
2. 地域との連携（橋渡し役として）	165

3. 主催者としての展示場	168
資料編	
①展示会に関連する用語	173
②展示会に関連するデータソース（出典）	177
③展示会に関わる法規制や各種保険などについて	179
④参考文献等	187